



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

**“ BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS ”**
地域を育み、大陸をつなぐ

RI会長
レイ・クリンギンズミス
2570地区ガバナー
西川 武重郎

利他の心で行動しよう

第 2398 例会 2010.8.4

例会場：マロウドイン 飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎(042)974-4000
事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町 1-7
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

天候 晴 (NO.47-05)
会長 半田 武 幹事 和泉由起夫
例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 吉島君、山岸君

- ・点鐘 半田会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱 前島職業奉仕委員
- ・ピジター(日高)小坂雅彦様
- ・米山奨学生 ケオサワン・ラマイさん
- ・卓話 小見山 実様

ラマイさんへ奨学金贈呈

【出席報告】

会員数		当日		前々回修正
全数	対象	出席数	出席率	出席率
58名	6名	46名	88.46%	89.66%

【会長報告】 残念ながらありません。

【M U】

7/24(ガバナー)半田君、馬場君
8/1(ガバナー)吉田(健)君
8/2(熊本南)山岸君

【幹事報告】

- ・ガバナー公式訪問の資料ご確認の事。役員、入会3年未満の市川(昭)、川口、中里(忠)、大崎、塩野、前島、丸山会員は懇話会にご出席を。最後「懇談会」は強制ではありませんが全員参加のコーヒブレイクです(当会場にて)、制服着用。「年度計画書」をお忘れなく。
- ・青少年育成飯能市民会議1万円、飯能まつり実行委員会5万円、飯能市子ども会育成会連絡協議会1万円、第8回西川材フェア実行委員会1万円、各寄付金承認。
- ・第9回ロータリー全国囲碁大会参加希望者は事務局までお申し出下さい。
- ・7/31読売夕刊、山口美和子前飯能RC会員の記事が掲載。都内ホテルで女性支配人は山口さんただ一人と顕彰されています。

【S A A 報告】

ニコニコBOX
・本日、お世話になります。(日高)小坂様
・小見山先生、本日の卓話をよろしくお願ひ致します。大野君
・ようこそ小見山様。お兄さんと188会でお世話になります。新井君、山川君、小崎君
・小見山先生、小坂様ようこそいらっしゃいました。細田(伴)君、土屋(崇)君
・西川材フェアに協賛金ご協力有難うございました。10/4会議所ゴルフ大会に多くのご参加お待ちしております。8/24・25の会議所経営セミナーにもご参加お願ひ致します。新井君
・法人会のゴルフが武蔵カントリーであり、図らずも池ポチャながら優勝しました。山川君
・小坂さん、ようこそ。矢島(巖)君、吉田(健)君、和泉君、小久保君、矢島(高)君
・チャリティーゴルフコンペでは大変お世話になりました。矢島(巖)君
・早退。石井君、高橋君、矢島(高)君
本日計20,000円、累計額120,000円。
18日例会当番は矢島(高)会員、吉田(行)会員です。

【委員会報告】

国際奉仕委員会 吉田(健)君
8/1東松山・紫雲閣、第1回国際奉仕セミナー。17年続く「日豪青年相互訪問」WCS「ネパールの識字率向上」が本年度地区テーマ。ネパールに17年間住んで奉仕される垣見一雅氏の体験。年8,600円で子ども1人の学費が補われる里親(当クラブ現在5口)登録の推進。

【卓 話】

講師紹介 大野プログラム委員長
 半田年度第1回卓話にふさわしい方とと思いました。
 奉仕の心の根幹にあるのが人権ではと考えます。
 S25年生まれ、飯能市在住。原市場中学校校長は3年目。
 人間地区中学校校長会(104校)の会長でもあります。

人権・やさしさ・ふれあい・思いやり

飯能市人権教育推進協議会 会長 小見山 実様

以前、県教育委員会に勤めていた時には「同和教育課」というのがありました(現・人権教育課)。東日本では長野と埼玉だけ。日本固有の、部落差別の問題で、大変厳しい話なんですけれども、その専門課があることは勤めるまで知らなかったような状態でした。4年の勤務の間、県内全ての市町村、公民館や学校へ行って勉強させて頂き、地域や運動団体の方とお話する中で、私の言っている言葉そのものが、もう原稿に書かれたことしか言わないような毎日...「これは私の生き方とは違うんじゃないか」「こんな事をしゃべったら何か言われるんじゃないか」と思いながら勤めていましたが、そんな中で、「人権の問題というのは自分の生き方にしなければいけない」とつくづく思いました。「人権教育」を受けた者の人権感覚が鋭くなったり意識が高まるかどうかというのはまた難しい問題ですから、「人権教育」というのは「人権について考える」ということなんだろうと思います。それぞれの意識や感覚をいろんな機会を通してふと振り返ってみる...それが時には必要なんじゃないか。私自身いろんな場でお話させてもらいながら、「内なる人権意識はどうなんだろうか」「お前に人権について語るだけのものがあるのか」というふうなことを常に問うています。こういう場を頂いたことについては自分自身の生き方を振り返る一つの機会になったと思って感謝しております。

・人権とは

子ども達には「人が生まれながらにして持っている権利」と簡単に話をします。中学生ですから社会科で「基本的人権」等について学習もします。「生まれながらに...」とは、人が人として健康で安全に生活が出来る、食べることが出来る、寝ることが出来る、学校に安全に来ることが出来る、誰にも邪魔されず学習することが出来る、等で、時間や空気と同じように誰にでも平等にあって共通にあるものだ。これほど平等なものはないという話をするわけです。

・人権尊重とは

「存在や意思をメチャクチャにしないこと(田中正人さん)田中さんは読売新聞編集局長だった方で著書に『路地裏の人権』があります。子ども達には、例えば挨拶の話で、「おはようございます」と人に向かって挨拶したら「おはようございます」と返す。そこに人権は成立する。もし返さなかったとしたら私の存在や意志はメチャクチャにされた...それほど大袈裟なものではないにしても、そういうものだろうと。最大の人権侵害は「命をとること」、殺人、戦争だろうということも話しています。

「誰の足も踏まない、誰にも足を踏ませないことへの約束(落合恵子さん)落合さんは以前、飯能で講演された時、「人間というのは生来、差別するもの」「優越感を持ち差別する」「差別やいじめは決して無くならない」と言い切ってしまう人がいるけれども、それは簡単に言い切ってしまうものではない。人の宿題として、差別する、偏見を持つというのは、人がどういう心理状態になった時にそういうことが起きるのかということを私達は解きほぐして行かなければいけないのではないかと、とおっしゃっていました。



9.11後のアラブ諸国へのバッシング、北朝鮮の核疑惑や拉致で朝鮮学校の子どものチマチョゴリが切られる等の寂しい事件も起きている。

・人権問題とは
 同和教育 教育によって差別を生むことにもなるという意見も。ただ、歴史的事実として社会的、科学的に教えることは必要。H8年、「基盤整備は概ね完了」との答申が地域改善対策協議会から出され、物的な環境整備から心的な差別の解消へとシフトして来た。

女性 男性は氏、女性はさん? 原中は男女混合名簿を使用。男女の特性を尊重することは当然のこと。植え付けていくことはしない。

子ども 虐待、ネグレクトは収まらず、年間、県で2600件、全国で4万4000件の相談が持ち込まれる。「虐待と思われる場合には児童相談所に通告を」と法改正されたが、これも大変厳しい。校長として3件程通告するも一時保護所はいっぱいで入れない。昔は地域コミュニティが虐待を防いでいたのでは?

高齢者 高齢化率14%を超えるのに日本はたった24年(フランスは115年)「高齢社会」から、今は「超高齢社会」(5年後には25%超?)。高齢者への施策が追い付いていない。長寿社会と現在の我々の生活がどこかでズレてしまっている。これもコミュニティの問題と繋がっている。

大人になった時に、差別する側に立たない、そして、絶対、差別される側にも立たない、そういう子ども達を学校は育てなければいけないと思っています。よく「差別に気付いて、しない、許さない」と言いますが、もっと「差別に負けない」という子ども達をつくらなければいけない。「負けない」は差別が前提の言い方ですが、そうではなく、人はどういう時に差別する側に立つのか、そして、差別される側に追い込まれてしまうのかということを考えて時、子ども達に、そのどちらにも立たない、そういう子ども達を育てることが学校の役目だろうと思っています。

・人権尊重は家庭から

家庭で普通に会話が出来る。親子で言葉のキャッチボールが出来る。そういう家庭が何よりも大事。

・「差別するつもりはなかった」

では、あなたは普段から差別しないつもりで生きているか。人権そのものが「意識」として心の中に備わっていて、それが「行動」になっているか。

・(自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持...憲法第12条。人権問題も、何もしなければもっともっと悪い状態になるんだろうと思います。ですから、地道に、お互いに考える場を作っていく必要があるのかなと思っています。詩「行為の意味」(宮澤章二)「つもった雪」「わたしと小鳥とすずと」(金子みすゞ)をレジメに掲載しました。

平成22年9月のプログラム
 (月間テーマ 新世代のための月間)

月日	例会数	行事予定	当番 [担当委員会]
9. 1	2,402	卓話「福祉を学んで考えたこと」 大川学園高等学校 生徒2名	雨間君 馬場君 [新世代]
9. 8	2,403	卓話「マルチアラートについて」 飯能RC 和泉由起夫会員	江澤君 藤原君 [プログラム]
9.15	2,404	卓話「社会奉仕について」 社会奉仕部門委員長 西澤孝夫様	細田徳君 細田伴君 [社会奉仕]
9.22	2,405	卓話「マルチアラートについて」 飯能RC 和泉由起夫会員	橋本君 平沼君 [プログラム]
9.29	2,406	例会取消(定款による)	

次週の例会案内は省略。